

小松島市市制施行62周年記念式典

さらなる発展と

新たな飛躍を目指して

小松島市が昭和26年に市制を施行して今年で62周年を迎えた6月1日、市保健センターで記念式典が催されました。式典では、市政功労者表彰式が厳かな雰囲気の中行われ、個人8名の方々が表彰されました。

市政功労者は次の方々です。

表彰者（敬称略）

保健衛生功労	福崎 博生
社会福祉功労	松田 艶子
社会福祉功労	水本 満子
消防功労	森 新次郎
私財寄附	尾崎 義雄
人命救助	玉田 敏明
ふるさと応援寄附	森川 昭洋
ふるさと応援寄附	矢野 満明

謝辞を述べられる被表彰者代表の松田艶子さん



津波緊急一時避難場所のご確認をお願いします

南海トラフ巨大地震が発生した場合、津波により市内の大部分が浸水することが想定されています。市民の皆様一人ひとりが、津波緊急一時避難場所への迅速かつ主体的な避難行動をとるために、避難経路・入口・避難時間などのご確認をお願いします。

避難経路入口の一例

【赤石山登山道】



【能路寺霊園】



市民安全課（市役所4階） TEL 32・2227 / FAX 32・3522

市民文芸

花みずき歌壇

(288)

松並武夫・選

小雨降る山々かすみ肌寒し桐の花はむらさきの露零しつづ

榎渕町 松下 玉枝

《評》五月ごろ、枝先に穂をなして筒状の薄紫の花をやや下向きに咲かせる桐。昔は娘が生まれると嫁入り筆筒を作るために桐の木を植えたと言うが、今はあまり見聞きしない。小雨の降る肌寒い日の桐の花が叙情的に詠まれており、叙景歌として巧みな作品。

しんどういと語いかにもしんどう 椅子にバジヤマがだらりと垂るる

ひのみね総合療育センター 関 政明

百年をのぼりのぼりてのぼり藤鉄塔なれば天まで届け

小松島町 高原 明美

娘と来し薬王寺の仁王門に現代風の仁王像立ちいで額すく

立江町 榊 ツギエ

愛犬を友に譲り別れ際の悲しげな鳴き声耳に残して

赤石町 田原トシ子

長く生きて知人の名前を新聞のお悔み欄に見る日の増える

神田瀬町 小寺 雍子

霧深き鳴門大橋に鳴る霧笛口惜しいと騒ぐツアアの客ら

江田町 深田 伴子

駿河湾に美保の松原背後には遺産登録のわれらが富士山

中田町 倉橋 正則

せせらぎの瀬音高鳴り用水路かたえに並ぶさ緑の苗

神田瀬町 大西カヲル

初めての泥んこ遊びはいつ頃か友と陶芸体験に行く

立江町 品岡 和美

市民文芸（川柳B）

家計簿も赤字になればしゃべり出す

芝生町 柏木 昌子

夕焼け小焼け歌った頃の土の橋

大林町 角 晴子

再会の軒にツバメが巣をつくる

田野町 土橋 旗一

山頂で衣裳を競う山ガール

大林町 谷 公子

物忘れ齢相応と受け止める

坂野町 玉有 光枝

丁度良い距離を保っている同居

坂野町 堀本 和子

恩返し数多の人に出来ぬま

田野町 椋本 久江